

令和 7 年 3 月 7 日

可搬型ハンプによる交通安全対策の実証実験について

～市内の道路で初めての实証実験～

「ハンプ」とは、生活道路等における車両の速度を減少させ、歩行者・自転車の安全な通行を確保することを目的として道路上に設けた凸型の構造物です。

交通安全対策に効果的な「ハンプ」を活用し、速度超過や通過交通が多い生活道路に設置し、実証実験を行っています。

課題分析や効果検証後に、可搬型ハンプから舗装によるハンプに切り替えを検討します。

可搬型ハンプは地元区や公安委員会等からの要望に伴い、リユースして市内各所で実証を重ね、更なる安全対策に取り組めます。

●実証実験期間

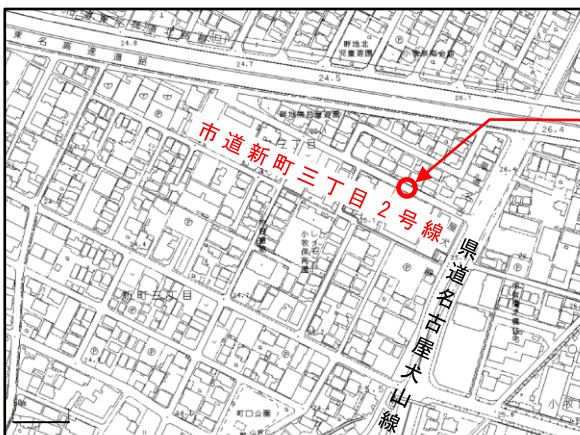
令和 7 年 2 月 1 9 日（水）から 約 2 ヶ月間

●実験場所

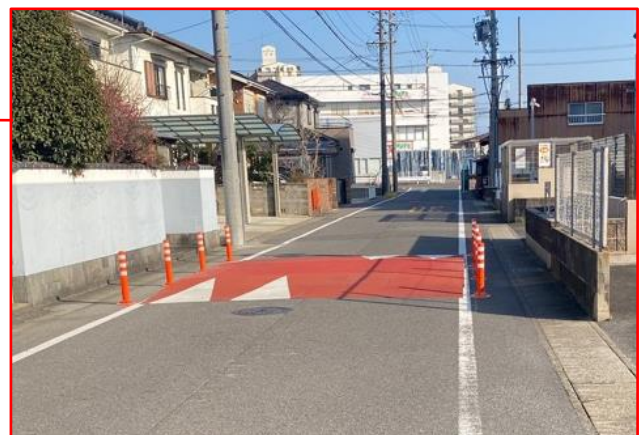
新町三丁目地内（市道新町三丁目 2 号線）

●実施状況

※箇所図



※写真



問い合わせ：建設部 道路課 維持係

担当：伊岐見（いきみ）、竹中（たけなか）

電話：0 5 6 8 - 7 6 - 1 1 7 4（直通）